

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和5年 9月 28日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	(一社) 起立工商 DMO	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	佐賀県 上峰町	
所在地	佐賀県三養基郡上峰町坊所 383 番地 1	
設立時期	平成 29 年 3 月 30 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	10 人【常勤 9 人（正職員 9 人）、非常勤 1 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	竹尾 恵介 一般社団法人 起立工商 DMO 代表理事	社団法人の運営・管理に関わり、上峰町の情報共有やパイプ役となっており、在任期間中、様々な取組で成果を挙げている。
イベントプロモーション責任者兼、各種データの分析・収集責任者	山口 黎 一般社団法人 起立工商 DMO	福岡県内のイベント会社での勤務経験を活かし、佐賀県内で各種イベントの企画・運営を行なっている。(一社) 起立工商 DMO におけるイベント及びプロモーションの企画・運営・実施を担当。観光協会との連携、連絡、調整に従事。
財務責任者 (CFO: チーフ・フィナンシャル・オフィサー)	竹尾 恵介 一般社団法人 起立工商 DMO	社団法人の運営・管理に関わり、上峰町の情報共有やパイプ役となっており、在任期間中、様々な取組で成果を挙げている。
WEB プロモーション、動画撮影、編集	御厨 竹紫 一般社団法人 起立工商 DMO 【専従職員】	一般企業にて WEB 制作、画像加工、動画編集を担当。令和 4 年 4 月より DMO に入社。これまでの経験を活かし、各種 WEB プロモーションを中心に幅広く従事。
地域ガイド	鶴田 忠信 上峰町農泊推進 協議会 【非常勤】	10 年以上地域で区長及び区長会長を経験。地域が主体になって稼ぐ観光協会の仕組みづくりに従事。桃農園の管理、町民のパイプ役を務める。

経営アドバイザー (専門人材)	貞島 博文 一般社団法人 起立工商 DMO 理事【非常勤】	一般企業にて WEB 制作、画像加工、動画編集を担当。令和 4 年 4 月より DMO に入社。これまでの経験を活かし、各種 WEB プロモーションを中心に幅広く従事。
経営アドバイザー (専門人材)	松永 浩司 一般社団法人 起立工商 DMO 理事【非常勤】	税務代理として所得税・法人税・消費税等にかかる税務全般について代理で従事。税務書類（届出書・申告書・申請書等、税務）
地域の食の提供 体験プログラムの 提供	大川 英子 一般社団法人 起立工商 DMO 理事【非常勤】	みやき飲料組合副理事として地域飲食店をプロデュース。割烹大川は今年で創業 35 年を迎え、地元で採れた野菜を使った家庭料理に近い“おふくろの味”を観光客に提供。 また体験メニューの料理講師も従事
会外アドバイザー	佐賀銀行 営業統括本部 佐賀銀行 神埼エリア	(一社)起立工商DMOのメインバンクである佐賀銀行で永年にわたり培った地域のネットワークを活かした地方創生や地方版総合戦略の推進におけるコーディネーターの役割を果たす。 また、金融のプロとして資金供給、経営改善のアドバイスをを行う。
連携する地方公共 団体の担当部署名 及び役割	<ul style="list-style-type: none"> ■上峰町 まち・ひと・しごと創生室 <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生(観光振興、交流拠点整備)、都市公園、ふるさと納税 ■佐賀県 地域交流部 <ul style="list-style-type: none"> ・さが創生推進課「自発の地域づくり」事業による福祉農業の事業化支援・空港課・国際課 佐賀空港を活用したインバウンド誘客 ■佐賀県 農林水産部 農政企画課 <ul style="list-style-type: none"> ・農村ビジネスにおける情報発信 ・農村ビジネスイベント実施支援 ■農林水産省 九州農政局 農村振興部 農村計画課 <ul style="list-style-type: none"> ・農泊ビジネスの体制構築に関する指導、助言、情報提供 ■公益財団法人佐賀県地域産業支援センター農村ビジネス振興課 <ul style="list-style-type: none"> ・農村ビジネスにおけるマーケティングサポート ・観光ビジネスにおけるコンサルティング ■一般社団法人 佐賀県観光連盟 経営・地域支援部 <ul style="list-style-type: none"> ・観光業界全体、地域内のニーズ把握に関する指導、助言、情報提供 ■一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構 (まちむら交流きこう) グリーンツーリズムに関する指導、助言、情報提供 	

<p>連携する事業者名 及び役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■上峰町商工会 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税返礼品提供 ・地域 PR 商品の開発、販売 ■社会福祉法人上峰町社会福祉協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税事務支援業務 ■B 型就労継続支援施設ふれあいかん <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等への食の提供 ■堤地区自治会 <ul style="list-style-type: none"> ・オリーブ葉の収穫・乾燥・粉碎による福祉農業事業の企画、実施 ■北九州市立大学大学院 マネジメント研究科特任教授 <ul style="list-style-type: none"> ・現状の把握・分析、有識者の立場からの助言及び提案 ■株式会社中山運輸 <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー、バス等の手配 ■吉野ヶ里温泉ホテル <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊プラン、宴会プランの造成、提供 ・多様なインバウンド需要への対応(団体客やハラールメニュー対応等) ・体験プラン会場の提供 ■大幸園(郷土料理の老舗) <ul style="list-style-type: none"> ・鎮西山の観光モデルとの事業連携 ・王将戦の対局会場 ・体験プランの造成、提供 ・体験プラン会場の提供 ■割烹大川(レストラン) <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等への食の提供 ■ギャラリー山水 <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光メニューの提供 ・多様なインバウンド需要への対応(FIT や富裕層対応等) ・体験プラン会場の提供 ■株式会社 ウェアサーブ <ul style="list-style-type: none"> ・Web マーケティングによる分析 ・ふるさと納税及び e コマースビジネスにおける CRM の推進 ■凸版印刷株式会社 <ul style="list-style-type: none"> ・トレイルランニングイベントの開催支援 ■上峰町農泊推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・体験商品開発業務
--------------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催支援 ■株式会社リクルートライフスタイルじゃらんリサーチセンター ・より効果的な広報方法など広報に関する指導、助言、情報提供 ■株式会社 TIME AND MEMORY ・インバウンド旅客の誘致支援、海外マーケティングに関する情報提供 ■株式会社ダイヤモンド・ビッグ社 (地球の歩き方 総合研究所) ・インバウンドマーケティング及びホスピタリティに関する指導、助言 ■株式会社マインドフルヘルス ・体験プランの開催支援、専門講師の派遣 ■日本将棋連盟 佐賀県支部連合会 ・王将戦等の将棋イベントの開催支援、企画 ■株式会社スポーツニッポン新聞社 ・王将戦等の将棋イベントの開催支援及び広報 ■都紀女加王墓と古墳公園を守る奉仕団 ・地酒「鎮西八郎」の開発支援
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【 該当する登録要件 】①</p> <p>組織を構成している理事および社員に、行政・観光・農林漁業・交通運輸等を営む方々に参画していただいている。</p> <p>また国内外の観光関連の有識者、町内の主たる施設の職員、事業者との意見交換を行うことで、外部の目から見た現在のサービスや施設の評価、課題の抽出等に協力していただいている。</p> <p>引き続き多様な業種の関係者と協力して取り組むとともに、外部のアドバイザーにすすんで、アドバイザリーボードとして組織化し、継続的な評価 を得られるよう体制を構築したい。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>幅広く観光マーケティングの取り組みへの町民の関心を喚起する目的から、ボランティア(有償)による来訪者への聞き取りアンケート調査を、観光庁のマニュアルに沿った調査票で継続的に行い、このデータを PDCA サイクルの重要な定点観測資料として活用している。</p> <p>また、中心市街地開発や鎮西山開発等重要な観光まちづくりに係るプロジェクトについては、適宜無料シンポジウムを開催する等、地域住民への 啓発を目的としたイベントを企画・開催する。令和元年 5 月には『鎮西山ふれあいの森フェスタ』を開催。鎮西山において、町民 600 名参加のウォーキング大会と県内外から 200 名のトレイルランニング大会が交流し、長さ 100m の流しそうめんを実施した。このイベントを開催することにより、</p>

	<p>町民がおもてなしの心で観光地域づくりに貢献し、駐車場整備に係る雇用創出にもつながった。町民自らが DMO 活動に参画することで、観光づくりへの意識の啓発につながっている。</p>										
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>【活動の概要】</p> <table border="1" data-bbox="432 427 1409 1845"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 427 619 477">事業</th> <th data-bbox="619 427 1409 477">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 477 619 719"> <p>情報発信・プロモーション</p> </td> <td data-bbox="619 477 1409 719"> <p>2018 年</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルマーケティングによるプロモーション事業 <p>まちの魅力を発信する動画コンテンツを企画・作成し、Youtube 等のメディアに掲載、まちの認知度の向上や町内への移住・定住を図っている。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 719 619 1155"> <p>商品開発業務</p> </td> <td data-bbox="619 719 1409 1155"> <ul style="list-style-type: none"> 上峰町の特産品や名品の開発及び支援を行い、本町の魅力を発信することで、本町の取り組みや活動を全国に PR する事業を行ってきた。 <p>(具体的な商品開発取り組みの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎮西八郎(日本酒) 上峰町内の米を使用した日本酒(純米吟醸)「鎮西八郎」を平成 29 年度から開発・製造・販売を開始。 天衝米(お米) 平成 29 年度より年に一度、上峰小学校の給食へ天衝米を提供し、町内の子どもたちにも地元米を楽しんでもらう取り組みを実施している。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1155 619 1554"> <p>ふるさと納税管理運営業務</p> </td> <td data-bbox="619 1155 1409 1554"> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税の管理運営を平成 29 年 4 月より受託。本町の取り組みを応援していただける寄附者を広く募るとともに、本町やその特産品等の PR などを通じ、地域の活性化に寄与することも目的とし、管理・返礼品開発・返礼品発送・納税額の拡充施策の実施などを行っている。 <p>※ふるさと納税の状況 22 億円 (H27 年度) ⇒47 億円 (H28 年度) ⇒65 億円 (H29 年度) ⇒53 億円 (H30 年度) ⇒47 億(令和元年) ⇒44 億(令和 2 年) ⇒46 億(令和 3 年) ⇒99 億(令和 4 年)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1554 619 1845"> <p>ふるさと納税 WEB マーケティング支援業務</p> </td> <td data-bbox="619 1554 1409 1845"> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税の管理運営を平成 29 年 4 月より受託。ふるさと納税の更なる促進に資する WEB マーケティングについて、現状と課題を踏まえコンサルティングを行うとともに、これに基づいた具体的な方策の実施を行っている。 <p>例 1) ふるさと納税サイトの利用状況について調査分析を行う。</p> <p>例 2) メルマガ配信を定期的に行い、町の PR・返礼品の PR を行う。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【定量的な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税を中心とした活動を行なっていることがわかる。 比べて、例年行なっている事業以外、今年新しく行なった事業行っていないはない。 	事業	実施概要	<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>2018 年</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルマーケティングによるプロモーション事業 <p>まちの魅力を発信する動画コンテンツを企画・作成し、Youtube 等のメディアに掲載、まちの認知度の向上や町内への移住・定住を図っている。</p>	<p>商品開発業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> 上峰町の特産品や名品の開発及び支援を行い、本町の魅力を発信することで、本町の取り組みや活動を全国に PR する事業を行ってきた。 <p>(具体的な商品開発取り組みの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎮西八郎(日本酒) 上峰町内の米を使用した日本酒(純米吟醸)「鎮西八郎」を平成 29 年度から開発・製造・販売を開始。 天衝米(お米) 平成 29 年度より年に一度、上峰小学校の給食へ天衝米を提供し、町内の子どもたちにも地元米を楽しんでもらう取り組みを実施している。 	<p>ふるさと納税管理運営業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税の管理運営を平成 29 年 4 月より受託。本町の取り組みを応援していただける寄附者を広く募るとともに、本町やその特産品等の PR などを通じ、地域の活性化に寄与することも目的とし、管理・返礼品開発・返礼品発送・納税額の拡充施策の実施などを行っている。 <p>※ふるさと納税の状況 22 億円 (H27 年度) ⇒47 億円 (H28 年度) ⇒65 億円 (H29 年度) ⇒53 億円 (H30 年度) ⇒47 億(令和元年) ⇒44 億(令和 2 年) ⇒46 億(令和 3 年) ⇒99 億(令和 4 年)</p>	<p>ふるさと納税 WEB マーケティング支援業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税の管理運営を平成 29 年 4 月より受託。ふるさと納税の更なる促進に資する WEB マーケティングについて、現状と課題を踏まえコンサルティングを行うとともに、これに基づいた具体的な方策の実施を行っている。 <p>例 1) ふるさと納税サイトの利用状況について調査分析を行う。</p> <p>例 2) メルマガ配信を定期的に行い、町の PR・返礼品の PR を行う。</p>
事業	実施概要										
<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>2018 年</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルマーケティングによるプロモーション事業 <p>まちの魅力を発信する動画コンテンツを企画・作成し、Youtube 等のメディアに掲載、まちの認知度の向上や町内への移住・定住を図っている。</p>										
<p>商品開発業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> 上峰町の特産品や名品の開発及び支援を行い、本町の魅力を発信することで、本町の取り組みや活動を全国に PR する事業を行ってきた。 <p>(具体的な商品開発取り組みの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎮西八郎(日本酒) 上峰町内の米を使用した日本酒(純米吟醸)「鎮西八郎」を平成 29 年度から開発・製造・販売を開始。 天衝米(お米) 平成 29 年度より年に一度、上峰小学校の給食へ天衝米を提供し、町内の子どもたちにも地元米を楽しんでもらう取り組みを実施している。 										
<p>ふるさと納税管理運営業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税の管理運営を平成 29 年 4 月より受託。本町の取り組みを応援していただける寄附者を広く募るとともに、本町やその特産品等の PR などを通じ、地域の活性化に寄与することも目的とし、管理・返礼品開発・返礼品発送・納税額の拡充施策の実施などを行っている。 <p>※ふるさと納税の状況 22 億円 (H27 年度) ⇒47 億円 (H28 年度) ⇒65 億円 (H29 年度) ⇒53 億円 (H30 年度) ⇒47 億(令和元年) ⇒44 億(令和 2 年) ⇒46 億(令和 3 年) ⇒99 億(令和 4 年)</p>										
<p>ふるさと納税 WEB マーケティング支援業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税の管理運営を平成 29 年 4 月より受託。ふるさと納税の更なる促進に資する WEB マーケティングについて、現状と課題を踏まえコンサルティングを行うとともに、これに基づいた具体的な方策の実施を行っている。 <p>例 1) ふるさと納税サイトの利用状況について調査分析を行う。</p> <p>例 2) メルマガ配信を定期的に行い、町の PR・返礼品の PR を行う。</p>										

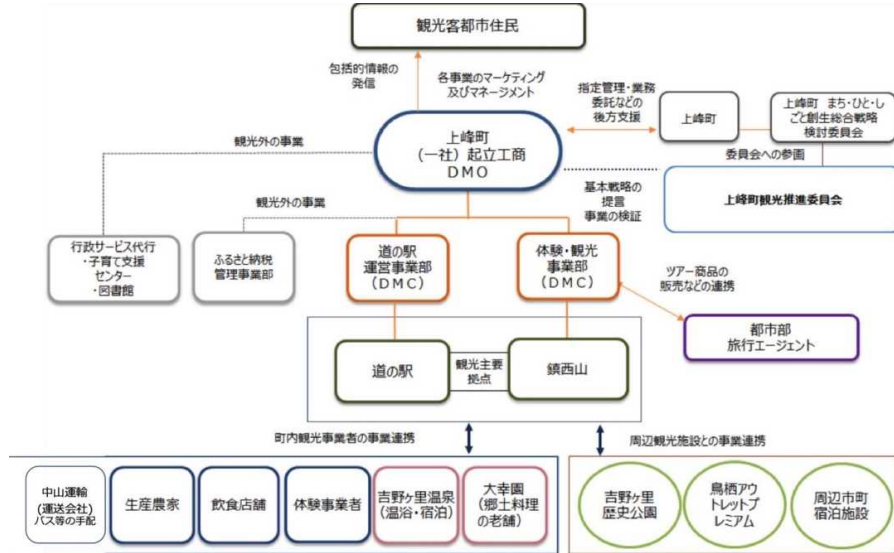
	それらの点を踏まえて、これからはふるさと納税で得た資金と認知度を利用し、新たな事業で上峰町の活性化に繋げていきたい。
--	--

実施体制

【実施体制の概要】

(一社) 起立工商DMOが中核となり、行政・上峰町観光推進委員会との連携を行い、町内事業者（商工事業者・宿泊業者、飲食業者、交通事業者、農業者）の多様な関係者が参画するなど、官民が密接に連携した運営を実施。年に一回以上開催される社員総会や理事会等の各会議により合議のうえで多数決による意思決定を行っている。

【実施体制図】



2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

佐賀県の東部、佐賀市と久留米市の間に位置する町で、佐賀市中心部から東へ約 15km、また福岡県久留米市中心部からは西へ約 15km であり、昔から佐賀県・福岡県における往來の盛んな場所に位置する。町域はほとんどが佐賀平野の一部に含まれており、平地が多い。町の北部には平安時代末期の武将源為朝が鎮西八郎と称して九州を平定する際、城を築いた「鎮西山」がある。上峰町としての観光振興としての取り組みは途上となっており、町の有する観光資源などを活用し、新たな観光の仕組みを構築して行く上で、当該町内で連携した区域設定とするのが適切と考える。

【観光客の実態等】

※設定区域における観光客入込客数、延べ宿泊者数、消費額等を踏まえて記入すること。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

・王将戦の開催

平成 29 年度の 67 期王将戦を上峰町で開催。平成 30 年度では渡辺明二冠の開幕 4 連勝により地元開催とはならなかったものの、渡辺二冠や青野照市九段、佐賀県で初の女流棋士となった武富礼衣女流初段らを招いた祝賀会や、渡辺二冠らによる小学校訪問、地元の将棋愛好家との指導対局が実現した。令和 2 年には無観客での開催。令和 3 年には祝賀会のみ開催。

上峰町の大幸園で行われた、令和 4 年 72 期王将戦では藤井聡太王将が勝利し防衛

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

・吉野ヶ里温泉ホテル

吉野ヶ里温泉の同敷地内にある宿泊施設。90 部屋（洋室・和室）を保有し、120 名程度の収容が可能である。宿泊者については、自由に吉野ヶ里温泉への入浴を楽しむことができる。近隣地域での長期ビジネスによる利用客やインバウンド旅客も増えている。

■既存施設を活かした滞在型観光の拠点となる施設の整備令和元年度に採択された農山漁村振興交付金（農泊推進対策）を活用し、日帰り観光から滞在型観光への転換に必要な、拠点となる施設の整備を行う。ビジネスジェット等を利用する富裕層に対しては、欧州のオーベルジュのようなグレードの高い食事と宿泊サービスを提供する少人数限定の農家民泊の整備を行う。本町には、王将戦の対局会場となった囲炉裏端で佐賀牛や海の幸を自分達で焼いて食べることのできる料亭「大幸園」や、温泉を併設したホテル「吉野ヶ里温泉ホテル」が存在する。これら既存の施設について、例えば大幸園では、インバウンドを含む富裕層向けのオーベルジュ的な食と宿泊の提供を行うために、小規模ながらも高質な設えとサービスを提供する宿泊施設を整備する。また、国際線定期便が就航していることから、就航両市間で盛んになっている学生間交流については、吉野ヶ里温泉ホテルの大広間を個別施設可能なパーティションで区切った使用を可能とする改装を行い、4～5名の小グループでなければ宿泊に抵抗のあるアジアの若年層需要への対応を行う。いずれも、既存施設の改修・改装により、過剰な投資による需要変動リスクを最小限にコントロールする方向性での対応をしている。

【利便性：区域までの交通、域内交通】

上峰町には、JR 長崎本線が通っているが、上峰町内に駅はない。最寄駅は、吉野ヶ里公園駅（吉野ヶ里町）と中原駅（みやき町）となっている。車では、長崎自動車道が町の北部を通っており、東脊振 IC（吉野ヶ里町）から 6 kmとなっている。また、町の中中部（商業集積地）には、国道 34 号線が通っており、佐賀県東部では一番交通量の多い、久留米分岐交差点（吉野ヶ里町）があり交通の要となっていることから、交通の便が非常に良く、佐賀県東部の交通網の中心的位置づけにある。

【外国人観光客への対応】

■インバウンド需要への対策佐賀空港等の定期国際航空路線誘致・拡充を背景に、インバウンド需要が近年増加しており、ニーズも多様化している。LCC 国際線の上海便（春秋航空）・ソウル便（ティーウェイ航空）の利用者は過去最高であり、富裕層が利用する国際ビジネスジェットについても平成 28 年度 6 件、同 29 年度 4 件の受入実績がある。また、羽田との国内線に乗り継いで佐賀へ訪れるインバウンド旅客も少なくない。このようなインバウンド需要の増加を背景に、本町においても、学生・生徒間の国際交流の受け入れや本町ならではの体験の実施を打診される機会（ex.蘭州市第五中学校、蘭州市第十六中学校）や富裕層向けの受け入れ施設の有無に関する問い合わせが増加しており、令和元年 6 月末より、7 月 8 月と中国からの修学旅行生の受け入れを実施する予定である。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	施設への宿泊者数の調査。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	WEB 管理サイトからアクセス数を調査
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	アンケート調査を自主事業として実施。

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

認知された観光コンテンツに乏しい上峰町ではあるが、町内の宿泊施設等を活用し、インバウンド客をはじめ多様な国・地域からの来訪者の受入れ実績を積み重ねている。町単独のプロモーションによる集客増よりも、吉野ヶ里町の「吉野ヶ里歴史公園（年間来場者数 70 万人）」や鳥栖市の「鳥栖プレミアムアウトレット（年間来場者数 500 万人）」等周辺地域の魅力ある集客施設とも連携を図り、地域連携における周遊性の向上と、上峰町への誘客促進を目指し、交流人口の増加につなげることにしている。まずは、上峰町内での観光モデルを確立し、運営体制の充実を図り、その次のステップとして、地域連携DMOとしての機能を備え、実施体制の構築を図りたい。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR 長崎本線、長崎自動車道からの交通アクセスが良い。 ・ 道の駅整備の計画など、集客拠点の整備が進んでいる。 ・ 鎮西山の再整備など観光拠点の整備が進んでいる。 ・ ふるさと納税において、上峰町の名前が全国に周知されている。 ・ 鎮西山を活用したトレイルランニングなど観光コンテンツの開発が進んでいる。 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上峰町のこれまでの、観光振興への取り組みが希薄である。(町の看板イベントが無い) ・ 上峰町内の観光コンテンツが少ない。(町が有する観光資源の未活用・未整備) ・ 観光事業者数が少ない。(未発掘) ・ 上峰町に、突出したイメージがない。(陶器の町、神社仏閣、温泉・グルメなど) ・ 農産物において、名産品がない。(未発掘含む) ・ 周辺地域との観光における連携が希薄である。(吉野ヶ里公園など) ・ 交通の利便性が良い分、町内の生活消費・観光消費が、近隣都市となりつつある(久留米市・鳥栖市など)。
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀県農政企画課が、農村ビジネスなどの地域活性化に向けた取り組みを推進している。 ・ 佐賀県観光課が観光地域づくり (DMO の設置など) を推進する取り組みを積極的に行っている。 ・ 都市住民における観光需要が、従来の物見遊山 (テーマパーク) から、地域 (農山漁村) における体験観光に移行しつつある。 ・ 那珂川市の五ヶ山ダムの整備により、福岡県からの誘客導線が変わり、上峰町への来訪機会の拡充が想定される。 ・ 佐賀空港や福岡空港発着の国際線を利用するインバウンド旅客が急増している。 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺地域に強力な集客コンテンツがある。(鳥栖アウトレット・吉野ヶ里公園など) ・ 新たな直売所の開業や既存道の駅のリニューアルなど、周辺地域の誘客施設が充実しつつある。 ・ 佐賀県自体が県内外の住民にとって、観光地としての認識が希薄である。

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入 (様式自由)。

(3) ターゲット

○第1ターゲット層 福岡都市圏の地域住民
○選定の理由 町の東に位置する久留米市と15 kmしか離れておらず、来訪（通過含む）機会が多いと想定される。福岡市においても九州自動車道の東脊振 IC からの流入が見込める。
○取組方針 シニア層夫婦やファミリー層の町内訪問機会増を目的とするイベントを定例化し、リピーター誘致するとともに、町民のボランティア等によるおもてなし参加を促進し、交流機会を増加、町の利便性・らしやすさの認知度向上を目指す。移住を検討する若いファミリー向けの住宅施策や子供のいない高齢者夫婦等向けの樹木葬等、観光施策と連動すべき町の施策 DMO として協力・推進する。
○ターゲット層 佐賀市民及び周辺市町住民
○選定の理由 佐賀県と福岡県を移動する基幹道路である、国道 34 号線が町の中部を通っており、周辺地域住民及び佐賀市民の流入が見込める。
○取組方針 シニア層夫婦やファミリー層の町内訪問機会増を目的とするイベントを定例化し、リピーター誘致するとともに、町民のボランティア等によるおもてなし参加を促進し、交流機会を増加、町の利便性・暮らしやすさの認知度向上を目指す。移住を検討する若いファミリー向けの住宅施策や子供のいない高齢者夫婦等向けの樹木葬等、観光施策と連動すべき町の施策を DMO として協力・推進する。
○ターゲット層 インバウンド旅客
○選定の理由 佐賀空港発着 LCC によりアジアからのインバウンド旅客が増加している。欧米豪との路線を持つ首都圏空港からの乗継によるインバウンド旅客の増加が期待される。
○取組方針 アジアからの団体客や FIT 等多様な旅客のニーズに対応できるよう、宿泊施設等の改修・整備を行うとともに、学校間交流等町民との国際交流を促進する。農業体験や山伏・山岳信仰等地域に謂れのある文化・歴史について生涯学習と連携し掘り起こしと商品化を行う。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	一過性に終わらず、継続して拡大していける交流のコンテンツ開発を目指し、イベントの定例化から交流拠点となる施設整備を行い、町及び周辺地域の幅広い観光関連産業の振興に寄与する。
②コンセプトの考え方	※アジアからの団体客や FIT 等多様な旅客のニーズに対応できるよう、古民家オーベルジュ等の改修を行い、国際交流を促進に努める。農業体験や文化・歴史について生涯学習できる環境も整え、掘り起こしや商品化を行う。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	(一社) 起立工商DMOが主体となり、メンバーには、行政、宿泊施設、飲 共有 食事業者・商工会のみならず、農業者及び地域づくり団体など多様な関係者が参画するなど、官民が密接に連携した組織「上峰町観光推進委員会」を立ち上げる DMOを中心として、地域の関連事業者を集めてコミュニケーションの場を2月に1回程度設けるとともに、関連事業者に対しての会議を実施 活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況や取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した事業報告書を作成
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	(一社) 起立工商DMOが主体となり、「上峰町観光推進委員会」と連携しつつ、観光事業におけるコンテンツの磨き上げなどのコンサルティング及び観光リソースとなる人材の育成を行っていく
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	ふるさと納税者及び e コマースビジネスにおける CRM の推進において、質の高い情報の発信を SNS の活用などで行っていく

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	368,005 (11,040)	441,606 (13,248)	307,014 (8,836)	343,856 (10,426)	405,750 (12,222)	457,570 (15,336)
	実績	157,443 (5,197)	204,676 (5,891)	301,142 (7,380)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	24,242 (1,212)	29,090 (1,455)	11,090 (543)	12,420 (608)	14,656 (718)	15,236 (746)
	実績	5,687 (307)	7,393 (362)	8,156 (417)			
●来訪者満足度 (%)	目標	94 (94)	97 (97)	97 (93)	100 (96)	100 (99)	100 (99)
	実績	94 (89)	94 (90)	94 (93)			
●リピーター率 (%)	目標	25 (10)	26 (10)	26 (11)	27 (12)	28 (13)	28 (13)
	実績	25 (2)	25 (10)	25 (10)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

※KPIとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。

「観光消費額」については、佐賀県観光客動態調査をもとに実績/目標を設定した。「延べ宿泊者数」については、町内の宿泊施設へヒアリングを実施し、実績/目標を設定した。「来訪者満足度」「リピーター率」については、当法人にて開催/協賛等を実施したイベント等でのアンケートを参考に実績/目標を設定した。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

2019年度佐賀県観光客動態調査（日帰り客 224,500 千円、宿泊客 95,068 円、合計 319,568 円）をベースとして算出。

●延べ宿泊者数

上峰町にある吉野ヶ里温泉の宿泊者数をベースに算出

●来訪者満足度

※来訪者に関する満足度調査が未実施の場合、「観光地の満足度調査」
 (https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/manzokudochousa.html) を参照して実施し、例えば、毎年〇%増などの目標を設定して記入すること。

●リピーター率

来訪者アンケートを実施。

(2) その他の目標

指標項目		2020 (R 2) 年度	2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度
●住民満足度 (%)	目 標	95 (90)	95 (90)	95 (90)	95 (90)	95 (90)	95 (90)
	実 績	95 (89)	94 (90)	95 (94)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
 ※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

「WEB サイトアクセス数」については、当法人の観光サイトへのアクセス数（Google アナリティクス）をもとに実績/目標を設定した。「体験プログラム企画数」については、当法人と地域内連携企業とで企画・開発した体験プログラム 数をもとに、実績/目標を設定した。「インバウンド誘致数」については、当法人と地域内外連携企業にて企画中である体験プログラムの 販売目標をもとに目標を設定した。

【設定にあたっての考え方】

●WEB サイトアクセス数

2021 年度サイトアクセス数をベースとして目標値を算出。

●体験プログラム企画数

2021 年度に企画した体験プログラム数をベースに目標値を算出。

●インバウンド誘致数

.....
当法人と地域内外連携企業にて企画中である体験プログラムの販売目標をもとに目標値を算出。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（1）収入、（2）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

（1）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2020（R2） 年度	209,177,627（円）	町からの業務委託 ・魅力発信拠点づくり事業 10,000 千円 ・ふるさと納税管理運営業務 183,177 千円 農業体験観光の実施 11,000 千円 インバウンド事業 5,000 千円
2021（R3） 年度	213,072,749（円）	町からの業務委託 ・商品開発補助金 4,500 千円 ・魅力発信拠点づくり事業 5,000 千円 ・ふるさと納税管理運営業務 182,572 千円 ・農業体験観光の実施 11,000 千円 ・インバウンド事業 5,000 千円 ・古民家再生事業 5,000 千円 (円)
2022（R4） 年度	260,500,000（円）	町からの業務委託 ・商品開発補助金 4,500 千円 ・魅力発信拠点づくり事業 5,000 千円 ・ふるさと納税管理運営業務 230,000 千円 ・農業体験観光の実施 11,000 千円 ・インバウンド事業 5,000 千円 ・古民家再生事業 5,000 千円 (円)

2023 (R5) 年度	260,500,000 (円)	町からの業務委託 ・商品開発補助金 4,500 千円 ・魅力発信拠点づくり事業 5,000 千円 ・ふるさと納税管理運営業務 230,000 千円 ・農業体験観光の実施 11,000 千円 ・インバウンド事業 5,000 千円 ・古民家再生事業 5,000 千円
2024 (R6) 年度	260,500,000 (円)	町からの業務委託 ・商品開発補助金 4,500 千円 ・魅力発信拠点づくり事業 5,000 千円 ・ふるさと納税管理運営業務 230,000 千円 ・農業体験観光の実施 11,000 千円 ・インバウンド事業 5,000 千円 ・古民家再生事業 5,000 千円
2025 (R7) 年度	260,500,000 (円)	町からの業務委託 ・商品開発補助金 4,500 千円 ・魅力発信拠点づくり事業 5,000 千円 ・ふるさと納税管理運営業務 230,000 千円 ・農業体験観光の実施 11,000 千円 ・インバウンド事業 5,000 千円 ・古民家再生事業 5,000 千円

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳(具体的に記入すること)
2020 (R2) 年度	173,893,34 (円)	町からの業務委託に係る再委託費 144,893 千円 その他の事業費 10,000 千円 人件費 15,500 千円 その他の経費 3,500 千円
2021 (R3) 年度	149,423,508 (円)	町からの業務委託に係る再委託費 109,423 千円 その他の事業費 20,000 千円 人件費 15,500 千円 その他の経費 4,500 千円
2022 (R4) 年度	245,828,054 (円)	町からの業務委託に係る再委託費 205,828 千円 その他の事業費 20,000 千円 人件費 15,500 千円 その他の経費 4,500 千円
2023 (R5) 年度	250,000,000 (円)	町からの業務委託に係る再委託費 210,000 千円 その他の事業費 20,000 千円 人件費 15,500 千円 その他の経費 4,500 千円
2024 (R6) 年度	250,000,000 (円)	町からの業務委託に係る再委託費 210,000 千円 その他の事業費 20,000 千円

		人件費 15,500 千円 その他の経費 4,500 千円
2025 (R7) 年度	250,000,000 (円)	町からの業務委託に係る再委託費 210,000 千円 その他の事業費 20,000 千円 人件費 15,500 千円 その他の経費 4,500 千円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

一般社団法人 起立工商DMOは、平成 29 年 3 月設立。平成 30 年度地方創生推進交付金を活用し、DMO 推進による稼ぐ観光商品づくりと地域の魅力向上・発信を目的に活動している。町の地域再生計画において位置づけられた、『コンパクトで住みよいまちづくり』を推進する団体として、地域再生エリアマネジメント負担金や地域通貨等関連事業の実施主体として得るべき適正なフィーを収益の柱とする事業計画の策定と実現のための条例整理等について現在町との協議を進めている。平成 30 年、DMO 候補法人に認定。令和元年 7 月には佐賀県初日本版 DMO に認定され、それと同時にふるさと納税業務を町から受託し、町の税収増加に努め、安定的な委託料の確保に取り組んでいる。また、新たな取り組みとして農泊コンテンツの造成や地元において農泊に関わる事業者を支援するため、農山漁村振興交付金も申請している。平成 31 年 4 月からは、中国旅行代理店と提携し、小中学生の修学旅行のサポート業務も有償で請け負っている。今後も交付金を前提としてではなく、独自の収益事業にも積極的に取り組んでいくことで組織の安定化を図りたい。令和 2 年 8 月より一般社団法人起立工商協会から、一般社団法人起立工商 DMO に社名を変更。継続的な活動に向けてアフターコロナ対策にも積極的に務める。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

佐賀県上峰町は、上位計画（総合戦略）に沿って、上峰のまちづくり、特に地域の稼ぐ力の醸成を意識した観光の産業化に向けて、今までになかった観光推進活動を展開中です。こうしたことから、（一社）起立工商 DMO に期待する部分は非常に大きなものとなっており、同協会を当町における地域 DMO として登録したいので申請します。

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	西田 真之介
担当部署名（役職）	一般社団法人 起立工商 DMO 専従職員
郵便番号	〒849-0123
所在地	佐賀県三養基郡上峰町坊所 383 番地 1
電話番号（直通）	0952-55-8777
F A X 番号	0952-55-8778
E - m a i l	kiriukosho@gmail.com

1 1. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	佐賀県 上峰町
担当者氏名	河上 昌弘
担当部署名（役職）	まち・ひと・しごと創生室 室長
郵便番号	849-0123
所在地	佐賀県三養基郡上峰町大字坊所 383 番地 1
電話番号（直通）	0952-52-2182
F A X 番号	0952-52-4935
E - m a i l	sousei@town.kamimine.lg.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

佐賀県三養基郡上峰町

【設立時期】 平成29年3月30日

【代表者】 竹尾 恵介

【マーケティング責任者(CMO)】 山口 黎

【財務責任者(CFO)】 竹尾 恵介

【職員数】 10人

常勤9人(正職員9人)、非常勤1人

【主な収入】

業務委託費 約一億九千万(R3年)

事業収入 約三千万(R3年)

【総支出】

約一億五千万円(一般管理費千五百万円、事業費一億三千万円)

【連携する主な事業者】

吉野ヶ里温泉ホテル、上峰町商工会、大幸園、株式会社ラッシュファーム、株式会社ウェアサーブ、凸版印刷株式会社、株式会社マインドシェア

KPI(実績・目標)

※()内は外国人に関するもの。

項目		2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
旅行消費額 (百万円)	目標	368,005 (11,040)	441,606 (13,248)	307,014 (8,836)	343,856 (10,426)	405,750 (12,222)	457,570 (15,336)
	実績	157,443 (5,197)	204,676 (5,891)	301,142 (7,380)	—	—	—
延べ宿泊者数 (千人)	目標	24,242 (1,212)	29,090 (1,455)	11,090 (543)	12,420 (608)	14,656 (718)	15,236 (746)
	実績	5,687 (307)	7,393 (362)	8,156 (417)	—	—	—
来訪者満足度 (%)	目標	94 (94)	97 (97)	97 (93)	100 (96)	100 (99)	100 (99)
	実績	94 (89)	94 (90)	94 (93)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	25 (10)	26 (10)	26 (11)	27 (12)	28 (13)	28 (13)
	実績	25 (2)	25 (10)	25 (10)	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

- ・福岡都市圏の地域住民
- ・佐賀市民及び周辺市町住民
- ・インバウンド旅客

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

- ・訪問機会増を目的としたイベントの定例化
- ・町の利便性・暮らしやすさの認知度向上を目的としたボランティア等によるおもてなし参加

【観光地域づくりのコンセプト】

一過性に終わらず、継続して拡大していける交流のコンテンツ開発を目指し、イベントの定例化から交流拠点となる施設整備を行い、町及び周辺地域の幅広い観光関連産業の振興に寄与する。

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・将棋王将戦を実施
- ・天衝米を企画開発、造成
- ・地酒鎮西八郎を企画開発、造成

【受入環境整備】

- ・インバウンド需要への対策事業
- ・体験型観光商品開発や多言語化の推進

【情報発信・プロモーション】

- ・デジタルマーケティング事業
- ・上峰町PVショートムービー「As it is! KAMIMINE」他

